

小中で耳鼻咽喉科検診

旭川医科大学が協力

市教委は9月28日から29日にかけて、旭川医科大学の協力で耳鼻咽喉科検診を市内の小・学4年生と中学3年生を対象に実施した。今年度も同医科大学の林達哉医師らが児童生徒の問診と診察を行った。

象に行われ、児童生徒たちは林医師らの問診を受け、耳やのどの診察を受けた。

昨年度の結果は、受診者数352人のうち経過観察者0人、要受診者96人。医師の方針で何らかの症状がある場合は要受診とするため、経過観察者は0人となっている。今年度の要受診者数はま

だ明らかにされていない。

(島津)

平成12年度から同医科大学の派遣を受けて毎年行っているもので、今年度も市立根室病院の出張医として定期診察している林医師と、中村基角医師が協力。昨年度欠席者を含む対象児童生徒365人を2人体制で1人ずつ診察した。

検診は28日に北斗小、海星小、海星中、厚床小、厚床中、落石小、落石中、成央小、花咲小、啓雲中の204人、29日に柏陵中、花咲港小、光洋中、歯舞学園の161人を対象に、林医師の診察を受ける児童

